

大切な遺伝子資源を十分に活用するために

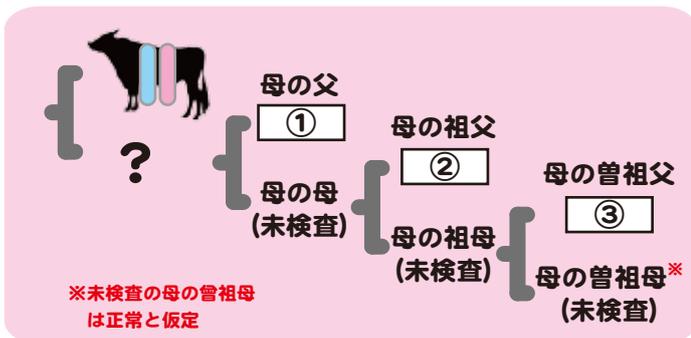
～正しい交配で遺伝性疾患の発症をなくそう～

遺伝性疾患とは何らかの原因で遺伝子が突然変異を起こし、正常に機能しなくなった変異遺伝子が親から子へ遺伝した結果、引き起こされる疾患です。

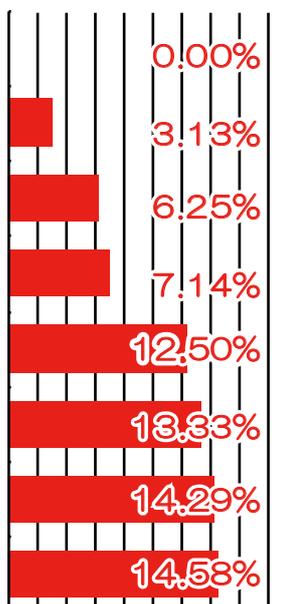
確定診断はDNA検査でしかできません！

1 母牛のDNA検査をしない場合

母牛の遺伝子型検査を実施しない場合は血統情報の確認が重要です。



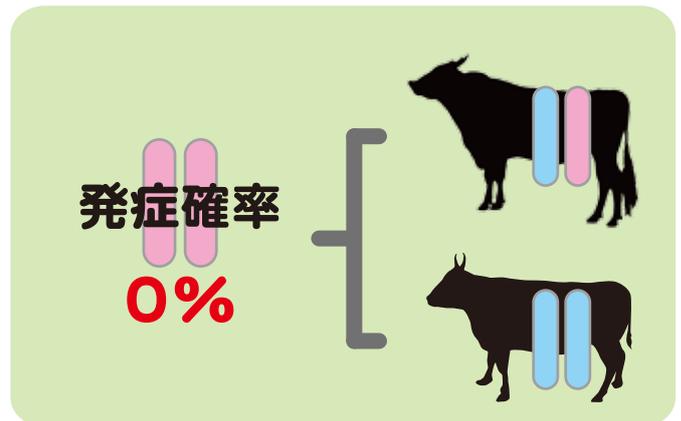
発症確率



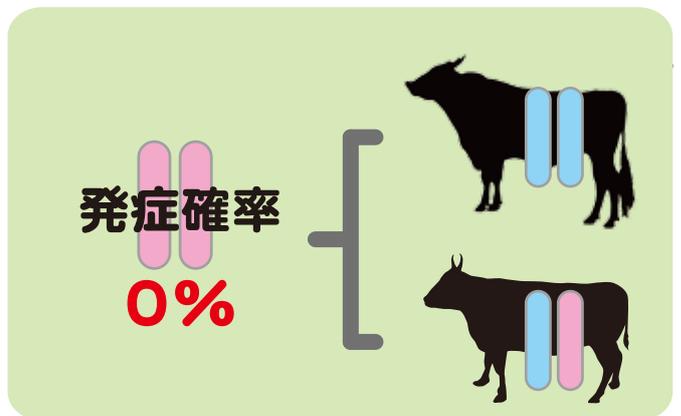
0% 2% 4% 6% 8% 10% 12% 14% 16% 18% 20%

2 母牛のDNA検査をした場合

母牛の遺伝子型検査の結果が、正常の場合、保因種雄牛を利用しても発症する確率は0%です



母牛の遺伝子型検査の結果が、保因の場合、正常な種雄牛を利用すれば発症する確率は0%です



■ 正常遺伝子 ■ 変異遺伝子

家畜改良事業団の種雄牛は、国が認定した全ての遺伝性疾患について検査を実施し結果を公表しています。